

人と人がつながり 幸せが循環するまち

～対話で拓く朝来市の未来～



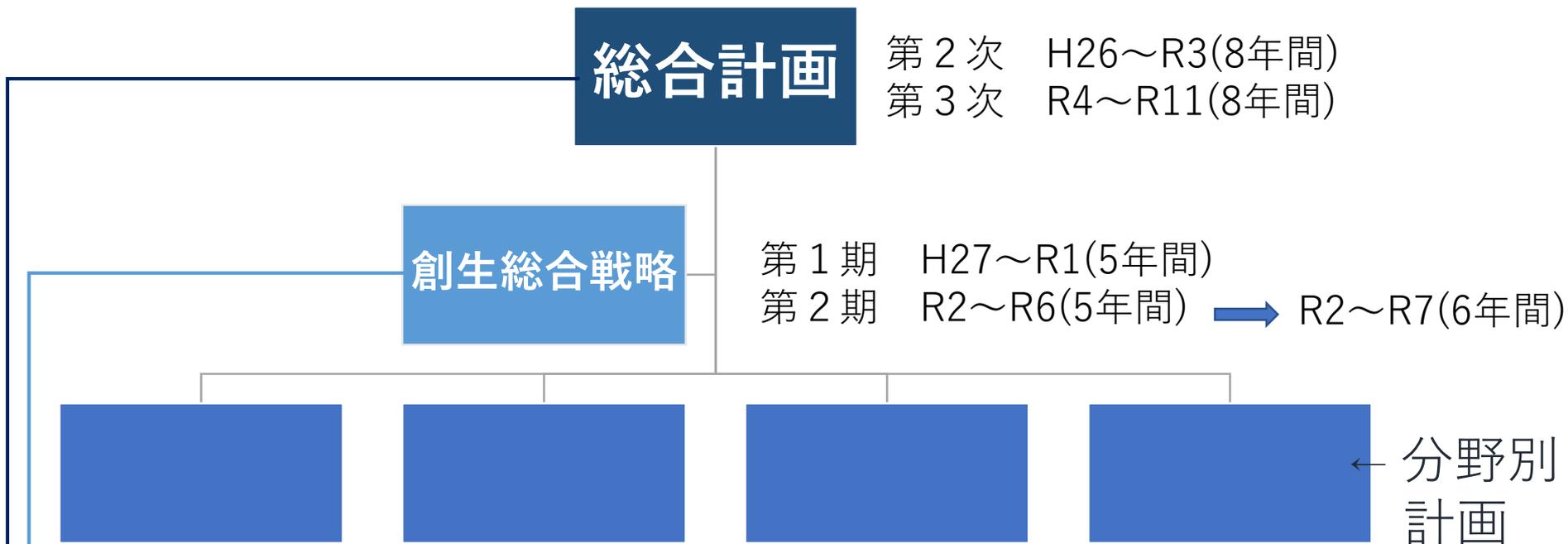
企画総務部総合政策課

1. 総合計画、後期基本計画、総合戦略の統合
2. 朝来市のまちづくりで大切にしてきたもの
3. 第3次朝来市総合計画に込められた思い
4. 第3次朝来市総合計画の将来像、政策指標
5. 政策指標の現状と市民参画の推進の重要性
6. 令和6年度あさご未来会議の開催趣旨、テーマ

1. 総合計画、後期基本計画、総合戦略の統合



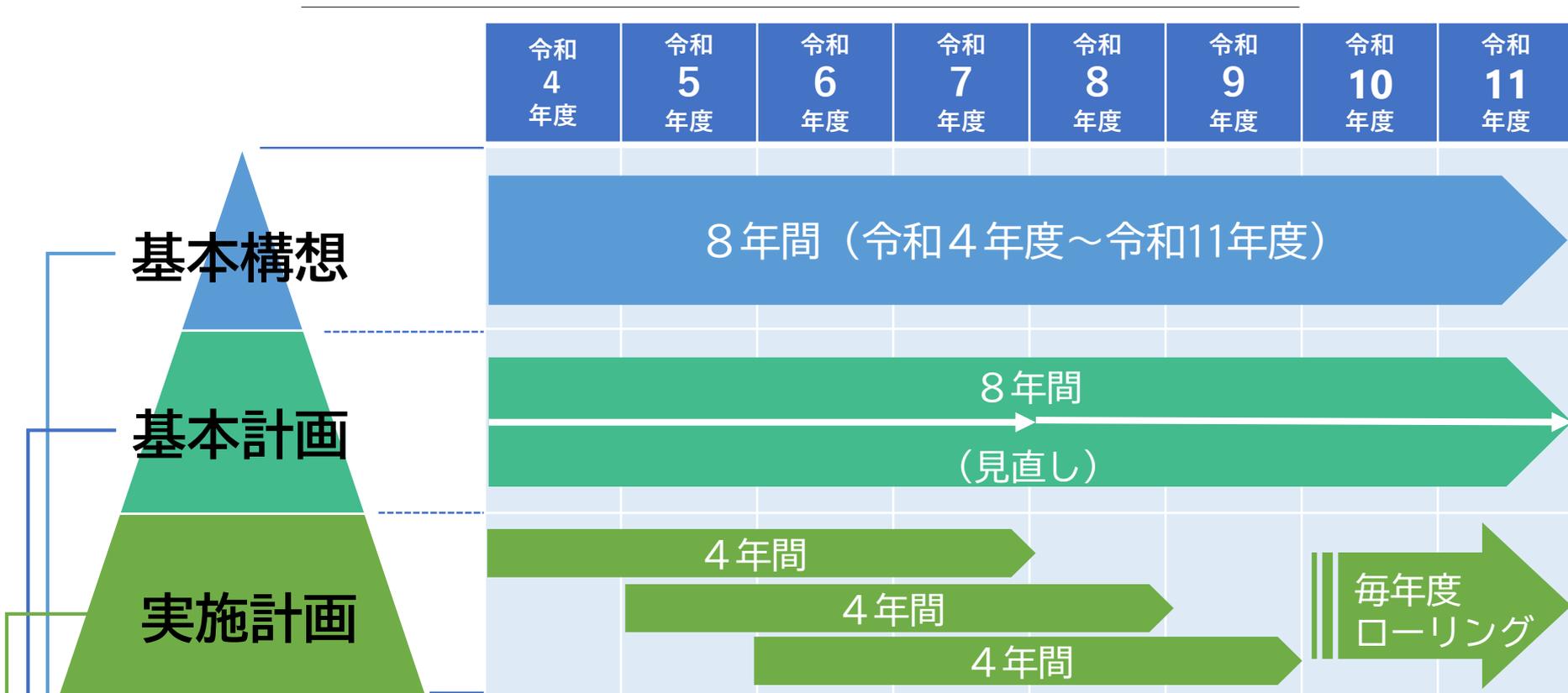
総合計画と創生総合戦略の位置づけ



総合的かつ計画的な市政運営を図るため、市の政策を定める最上位の計画。

人口政策、地域経済振興（観光・農業含む）の推進を中心においた戦略。総合計画において重点戦略として位置づけ。

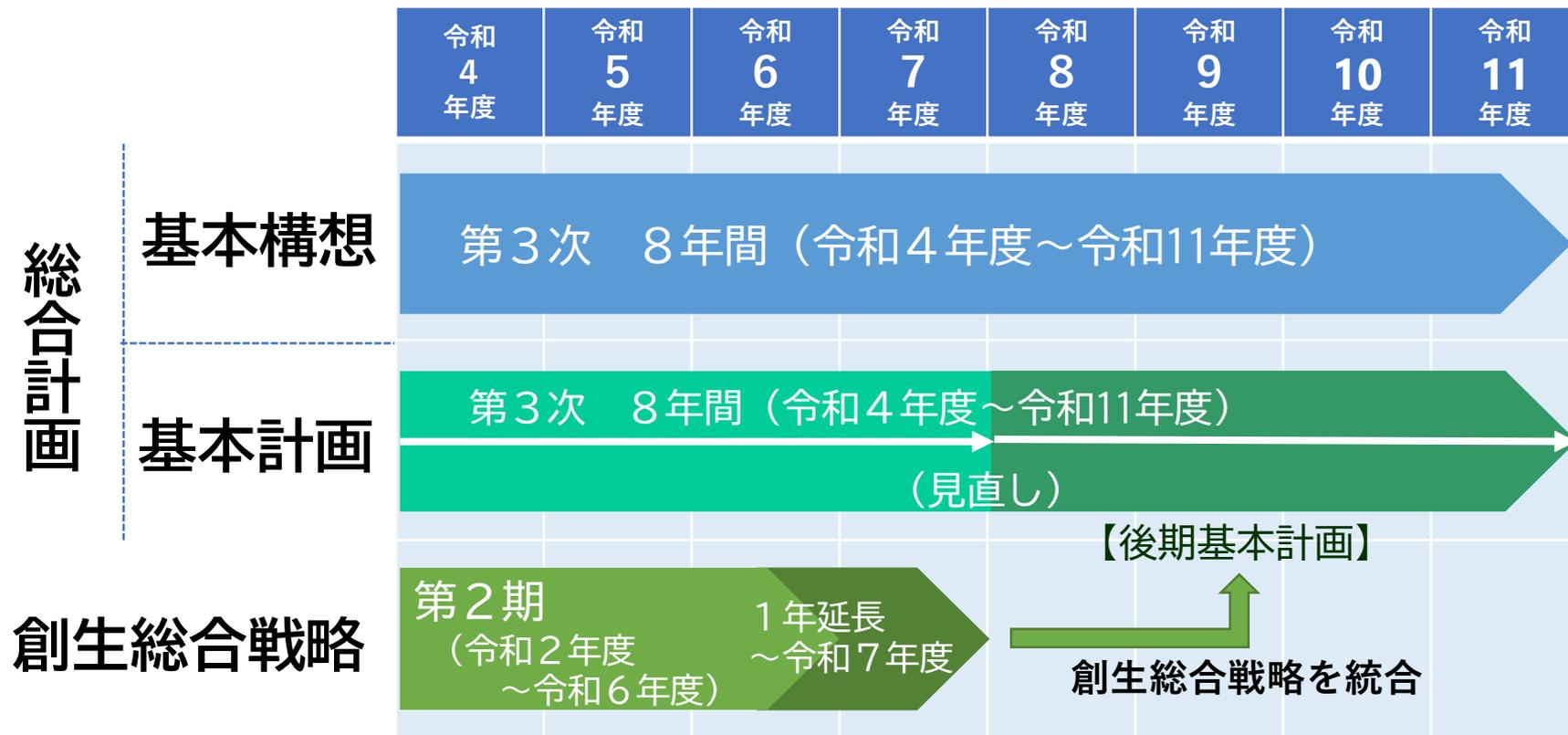
第3次朝来市総合計画の計画期間と構成



目指すべき将来像、その実現に向けた基本的な方向性を示すもの。

基本構想を実現するために必要な施策を体系的に示すもの。

基本計画で定めた施策を推進するための具体的な事業計画。



令和6年度～令和7年度（2年間）

総合計画基本計画の見直し
（創生総合戦略策定含む）

2.朝来市のまちづくりで大切にしてきたもの



朝来市のまちづくりの歩み

■第1次朝来市総合計画（平成19年度～平成28年度）

人と緑 心ふれあう 交流のまち 朝来市

- 合併によるスケールメリットを活かしながら、一体感あるまちづくり
- 地域協働・地域自治システムの構築による**市民自治のまちづくり**

■朝来市自治基本条例の制定（平成21年度）

- **市民が主体**となった**市民自治のまちづくり**を確立
- まちづくりの基本原則：「参画と協働」「情報の共有」「自律と共助」

人口減少問題への対処の必要性

■第2次朝来市総合計画（平成26年度～令和3年度）

あなたが好きなまち・朝来市

- 人口政策を最重要課題と位置づけ
- 人口が少なくなっても**市民が幸せに暮らしていけるよう地域力の維持・向上**

■朝来市創生総合戦略（平成27年度～）

- 一人ひとりが大切な存在
「ひと」が朝来市創生の基盤
- **「対話」と「協働」**を大切にしながら取り組む

3.第3次朝来市総合計画に込められた思い



総合計画策定に向けて あさご未来会議での意見①



対話

- 主体性
- 多様性
- シビックプライド
- 学び
- つながり・連携

市民一人一人が幸せを実感

自立

共生

- 地域の自治力
- 内発的な経済力
- 地域内経済循環
(食・農林業含む)

- 地域共生
- 多文化共生
- 自然との共生

総合計画策定に向けて あさご未来会議での意見②

1. 市民力や地域力をはじめとする人と人のつながりは、朝来市がもつ財産であり、これからも大切にしたい。
(人と人とのつながり、自治力、ありがとうの循環)
2. 市民一人一人を大切にした暮らしは、市民の幸せにつながり、まち全体の幸せにつながる。
(多様性、共生、真の豊かさ・幸せの実感 (ウェルビーイング))
3. 朝来市らしい自然とともにある心豊かな暮らしを未来につなぐ。
(持続可能性、自然との共生)

みんなで歩む 第3次朝来市総合計画 朝来市の未来を切り拓く「みんなの合言葉」

／朝来市の未来を切り拓く／

みんなの合言葉

まちの未来を考えるあさご未来会議に集まった多様な市民のみんさんの対話から、朝来市が目指す将来像「人と人がつながり幸せが循環するまち」の実現に向けたみんなの合言葉が生まれました。みんなの前向きな気持ちが響きあうことで、朝来市のまちづくりは進んでいきます。一人一人が暮らしの中で声をかけ合っていきます。



朝来市が目指す将来像

人と人がつながり
幸せが循環するまち
～対話で拓く朝来市の未来～

第3次朝来市総合計画（計画期間：令和4年度～令和11年度）

まち全体が幸せであるために、まず市民一人一人が幸せを実現できることが大切です。小さなことでも自分のやりがいや達成感を感じて、困ったときに頼れる人がいれば、次なるチャレンジに向かう勇気もわいてきます。朝来市は、一人一人の幸せを育み、互いに響き合うことで、「人と人がつながり幸せが循環するまち」の実現をめざしています。

／もう始まっています／

朝来市の未来を切り拓く みんなの合言葉（声かけ）

令和3年11月13日、あさご未来会議に集まった80人の対話から、朝来市が目指す将来像「人と人がつながり幸せが循環するまち」の実現に向けたみんなの合言葉が生まれました。みんなの前向きな気持ちが響きあうことで、朝来市のまちづくりは進んでいきます。

- 1 日頃からのあいさつ
「〇〇さん、おはよう」
「〇〇ちゃん、こんにちは」

毎朝挨拶を続けることで、お互いの気持が通じ、心が通い合います。まち全体が笑顔で、一人一人が、日ごろからのあいさつも大切に。
- 2 実えあいの言葉
「お疲れ様」
「ありがとう」

言葉とお互いの声をかけ合います。また言葉の交わりが思いやりにつながります。笑顔の掛け合い、人々のつながりが笑顔に、安心感のあふれるまちに。
- 3 きっかけになる声かけ
「いつでも相談のよ」
「何かあれば言って」

思いやりかけは、誰かの一手も踏み出す勇気になることもあります。助けあうことで、困ったときも頼れる人がいるまちに。
- 4 安心できる暮らしの言葉
「大丈夫」
「なんとかなるよ」

連絡し合えば、何もない状況でも安心です。また言葉の交わりが助け合いにつながります。助け合いが、自分らしく、安心して暮らせるまちに。

- 5 信頼からの力強いエール
「あなたならできる」
「頼りにしてる」

誰かに頼られることは、自信と責任のかけがえのないものです。自分自身でできる人として、自分ひとりでやってみよう。
- 6 仲間からの協力
「一緒に考えよう」
「私も協力するよ」

思いや言葉のかけ合い、助け合いの気持ちで、一人ひとりが協力し合えるまちに。仲間がいて一緒に進んでいける。
- 7 自信につながる褒め言葉
「いいね!」
「すげえやん!」

ちょっとした褒め言葉、励みになります。また、励みになる言葉、自信につながる言葉、自分ひとりでやってみよう。



4.第3次朝来市総合計画の将来像、政策指標



第3次朝来市総合計画 目指すまちの将来像

第3次朝来市総合計画の「幸せ」
= **ウェルビーイング (Wellbeing)**
≠ happiness (ワクワクするなど短い時間の感情)

ウェルビーイング (Wellbeing) とは…
こころ・からだ・社会的に満たされた状態

社会の中で孤立せずに他人と良い関係を持つことができ、自分の居場所や役割を持つことのできる社会

第3次朝来市総合計画 目指すまちの将来像

人と人がつながり
幸せが循環するまち

～対話で拓く朝来市の未来～

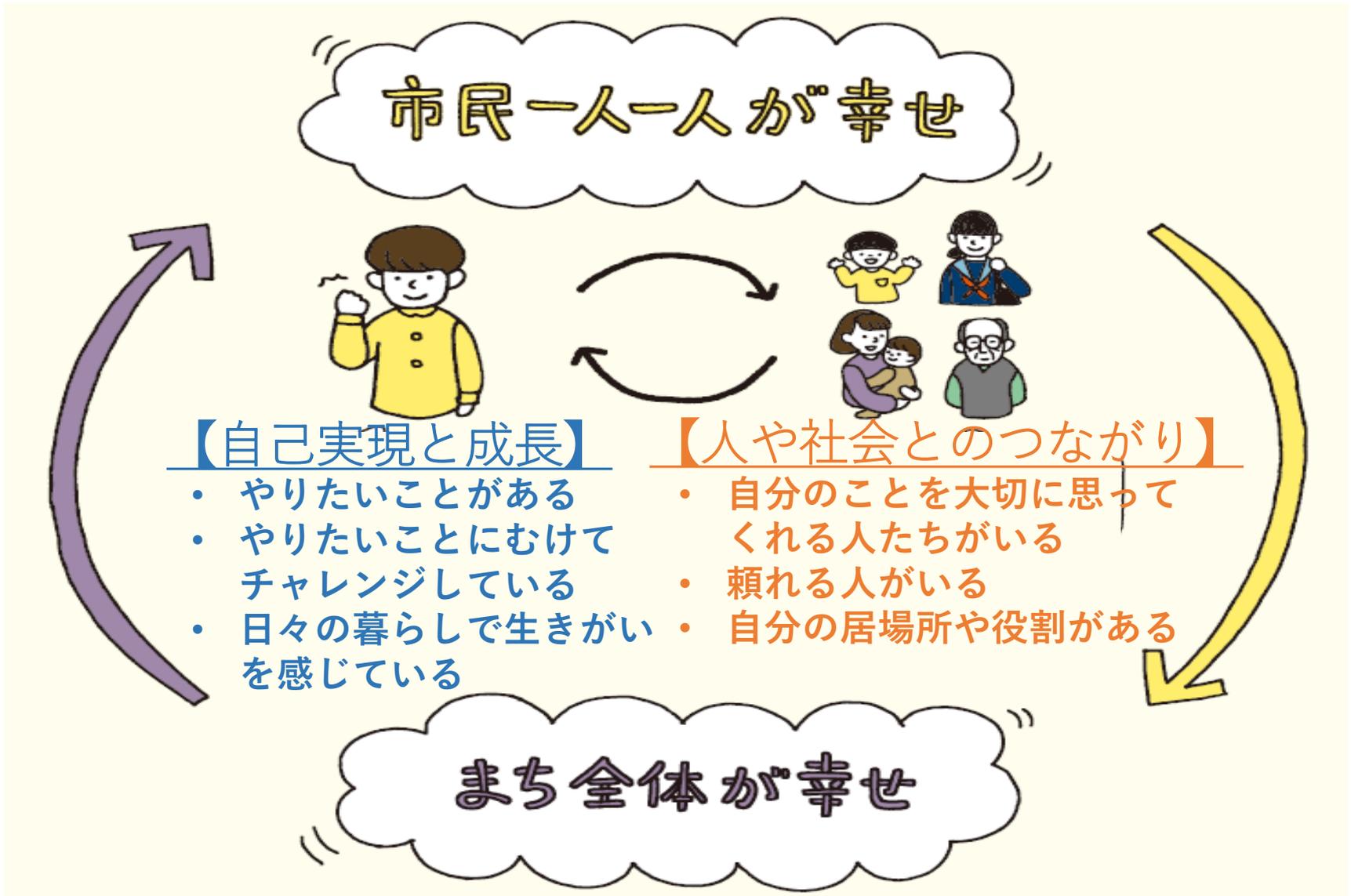
地域力をはじめとする市民相互のつながりに加え、市民と市内外の多様なつながりが、朝来市を前進させる新たな動きを育みます。

つながりから生じた新たな動きが市民の幸せを創出し、新たな動きと幸せが周囲に波及・伝播して、市民一人一人が実感することで、まち全体が幸せであふれる『幸せが循環するまち』を目指し、まちづくりを進めます。

市民一人一人の姿

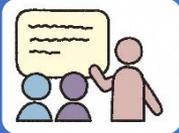
まちの姿

第3次朝来市総合計画の将来像 市民一人一人の姿



第3次朝来市総合計画 ありたいまちの姿

人と人がつながり
対話で拓く朝来市の未来
幸せが循環するまち



ありたいまちの姿1
「やりたい」につながる多様な学びで、
未来をつくる「人」を育む



ありたいまちの姿2
人と自然が共生しながら地域で循環する産業を確立する



ありたいまちの姿3
多様なつながり・交流を育み、地域力をより高める



ありたいまちの姿4
誰もが居場所や役割を持ち、
健幸で心豊かな暮らしを実感できる



ありたいまちの姿5
市民の暮らしを支える安全・安心な都市基盤を持続する



ありたいまちの姿6
まちの動きや情報を戦略的につなぎ、
効率的で健全な行財政運営を実現する

第3次朝来市総合計画 まちづくりを進めていくうえでの大切な考え方

まちづくりを進めていくうえで、
どの分野においても、常に意識する大切な考え方



朝来市のまちづくりマインド
※ 市民一人一人が主役
※ 人と人をつなぐ対話
※ 未来へのまなざし

市民一人
一人が主役

- SDGsの理念
「誰一人取り残さない」
- 市民が主役
「市民自治のまちづくり」

大切な
考え方

- 対話で育む「つながり」
「シビックプライド」
「主体的な活動」
- まちづくりのプロセス
対話の重要性

未来への
まなざし

- 持続可能性の視点
人口減少、自然との共生

人と人を
つなぐ対話

5.政策指標の現状と市民参画の推進の重要性



政策指標の現状（幸福度と市民一人一人の姿）

■朝来市民の幸福度

| | 初期値 (R3) | 実績値 | | 比較 (R5-R3) | 目標値 (R11) |
|-----|----------|-------|-------|---------------|-----------|
| | | R4 | R5 | | |
| 幸福度 | 57.0% | 56.0% | 53.7% | -3.3 | 61.0% |

■市民一人一人の姿（朝来市民に幸福度に影響を与える要素）

| | | 初期値 (R3) | 実績値 | | 比較 (R5-R3) | 目標値 (R11) |
|----------------|-----------------------------|-------------|-------|-------|---------------|--------------|
| | | | R4 | R5 | | |
| 自己実現 と成長 | やりたいこと（趣味・学び・活動・仕事等）がある | 55.4% | 57.5% | 55.9% | 0.5 | 59.4% |
| | やりたいことに向けてチャレンジ（準備・実行等）している | 41.1% | 40.6% | 39.4% | -1.7 | 45.1% |
| | 日々の暮らしで生きがいを感じている | 45.9% | 44.6% | 43.0% | -2.9 | 49.9% |
| 人や社会 とのつながり | 自分のことを大切に思ってくれる人たちがいる | 75.7% | 75.7% | 71.3% | -4.4 | 79.7% |
| | 頼れる人（家族・友人・地域の人等）がいる | 75.5% | 72.8% | 72.7% | -2.8 | 79.5% |
| | 自分の居場所や役割がある（家庭・地域・職場等） | 70.7% | 69.7% | 67.3% | -3.4 | 74.7% |

(R4.5アンケート)(R5.5アンケート)(R6.5アンケート)

政策指標の現状（まちの姿）

| ありたいまちの姿 | 初期値 (R3) | 実績値 | | 比較 (R5-R3) | 目標値 (R11) |
|---|-------------|-------|-------|---------------|--------------|
| | | R4 | R5 | | |
| ありたいまちの姿1 満足度 「やりたい」につながる多様な学びで、 未来をつくる「人」を育む | 23.2% | 21.4% | 19.3% | -3.9 | 27.2% |
| ありたいまちの姿2 満足度 人と自然が共生しながら地域で循環する 産業を確立する | 25.5% | 24.8% | 21.8% | -3.7 | 29.5% |
| ありたいまちの姿3 満足度 多様なつながり・交流を育み、地域力を より高める | 23.6% | 22.0% | 19.0% | -4.6 | 27.6% |
| ありたいまちの姿4 誰もが居場所や役割を持ち、健幸で心 豊かな暮らしを実感できる | 30.4% | 28.1% | 25.9% | -4.5 | 34.4% |
| ありたいまちの姿5 市民の暮らしを支える安全・安心な都 市基盤を持続する | 35.3% | 31.6% | 31.1% | -4.2 | 39.3% |
| ありたいまちの姿6 満足度 まちの動きや情報を戦略的につなぎ、 効率的で健全な行財政運営を実現する | 23.5% | 22.1% | 20.4% | -3.1 | 27.5% |

(R4.5アンケート) (R5.5アンケート) (R6.5アンケート)

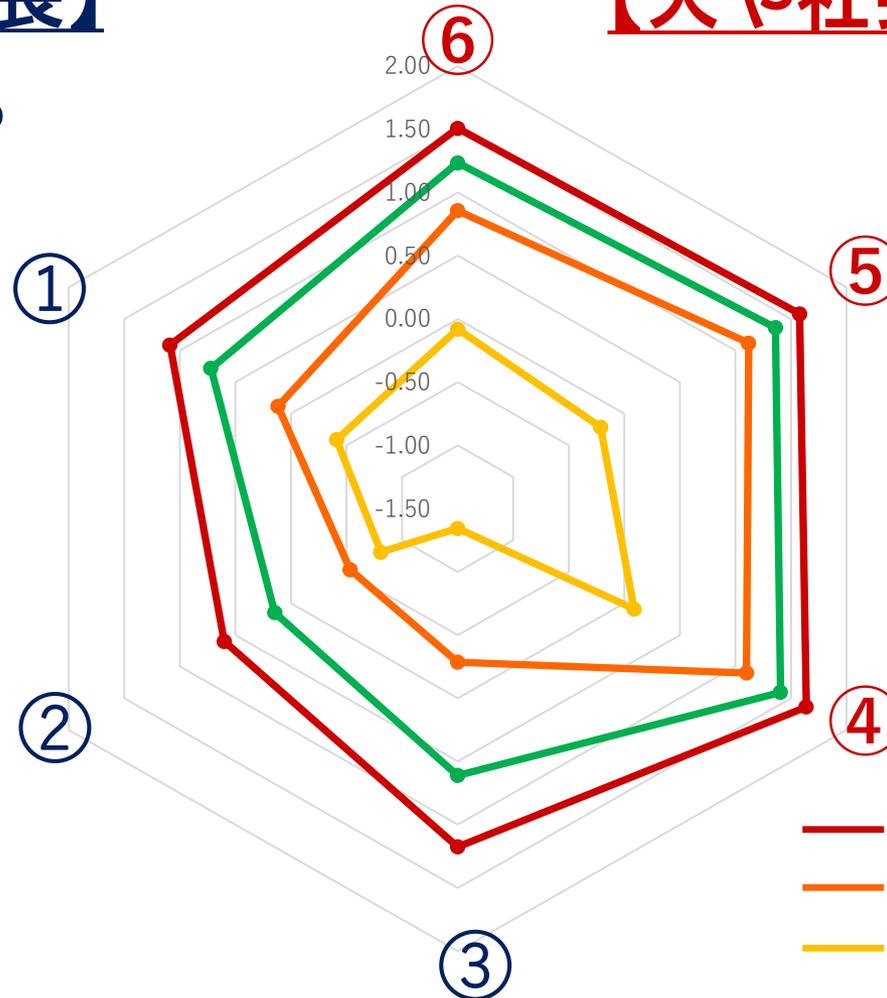
政策指標（市民一人一人の姿×幸福度）の現状
（令和4年5月市民アンケート調査結果）

【自己実現と成長】

【人や社会とのつながり】

- ① やりたいことがある
- ② やりたいことにむけてチャレンジしている
- ③ 日々の暮らしで生きがいを感じている

- ④ 自分のことを大切に思ってくれる人たちがいる
- ⑤ 頼れる人がいる
- ⑥ 自分の居場所や役割がある



— 幸福度：高 (7 - 10)
 — 幸福度：中 (4 - 6)
 — 幸福度：低 (0 - 3)
 — 朝来市平均

市民参加・市民参画は
市民一人一人の幸せ、まちの幸せに

幸福度が高い人は、

「自己実現と成長」

と

「人や社会とのつながり」が高い

└─「やりたい」
(Will)を実現

└─「やりたい」の実現をつうじて
人や社会のつながりが育まれる

市民参加・市民参画

まち・地域で、
「やりたい」(Will)を
大切にし、私・私たちの
やりたいを実現



- ・ 私も、私たちも、
まちも幸せ
- ・ 持続可能なまちづくり



6.令和6年度あさご未来会議の開催趣旨、テーマ



開催趣旨、対話テーマ

開催趣旨

- ◆ 将来像の実現に向け、現状を踏まえた後期基本計画を策定
- ◆ 朝来市が重点的に取り組む内容を明確にするにあたり、軸となる20～30年後も「大切にしたい朝来市の価値」の確認
- ◆ 大切にしたい朝来市の価値や、人口指標の現状を踏まえて、具体的な取り組みについての対話

| 回 | テーマ |
|-----|-------------------------------|
| 第1回 | 子どもたち、孫たちにもつなぎたい朝来市の良いところ |
| 第2回 | 若い世代、子育て世代が住み続けたいと思えるまちにするには？ |

第1回あさご未来会議のプログラムの流れ

ステップ

1

- ・ オープニング（趣旨・対話概要等の説明）
- ・ ファシリテーター紹介

ステップ

2

- ・ グループ対話
- ・ ギャラリーウォーク、ふりかえり対話

ステップ

3

- ・ クロージング
（市長コメント、次回の案内など）



グループ対話の流れとポイント

Step 1

20~30年後の自分自身の
幸せの暮らしをイメージして記入しよう

Step 2

それぞれの幸せの暮らしについてグループ内で意見を共有しよう

Step 3

グループ内の幸せの暮らしをするためには、朝来市のこういった「ひと」「こと」「もの」が必要か意見を出し合いましょう

家庭、仕事、学校、地域、友だちとの時間など、さまざまな場面で誰とどんなことをしているときに幸せを感じるかを具体的にイメージしてみよう。

「〇〇と〇〇しているとき」

「〇〇があるから仕事を頑張れている」

「〇〇がいてくれるので安心して子育てできている」



グループ対話でのお願い

一緒にみんなに対話しやすい場を作ろう



- ✓ **発言はゆっくりでも大丈夫！**
 - … 誰もが発言しやすいように。
- ✓ **市外の皆さんとも朝来市の未来を考えよう**
 - … 私たちが気付いていない市外から見える朝来市を教えていただき、参加者全員で朝来市の未来について考えましょう。
- ✓ **子どもたちと一緒にみよう！**
 - … この子どもたちが大きくなった時に誇れる朝来市づくりとなる対話の場に。
- ✓ **市職員も一緒に学ぶ場に**
 - … 採用1年目・2年目の職員が参加しています。

人と人がつながり 幸せが循環するまち

～対話で拓く朝来市の未来～



企画総務部総合政策課